

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	ポンプ場管理事業			
予算科目	8 款 3 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 都市計画			
所管課情報	担当課:	土木管理課	電話番号(内線):	593
記入者情報	所属長:	木曾 信之	担当責任者:	一方井 浩介
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民			
根拠法令等				
事業の目的	市内各所にある4つのポンプ場について適正な維持管理を行い豪雨・災害等を未然に防ぎ地域の防災・安全の確保を図る。			
事業の内容	市内各所にある4つのポンプ場施設の維持修繕、改修及び施設の管理委託費			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	ポンプ場における機械設備の管理は計画的にオーバーホール、修繕を実施することで効率的に進められている。現在進められている施設の長寿命化計画の内容を検討しつつ機械以外の設備(建築物等の老朽化対策)についても今後の対応策を細部にわたって策定していく必要がある。			
改善策の 具体的 取り組み	策定中である長寿命化計画について施設全体を視野に入れた計画を策定する。			

事業費及び財源内訳					
項目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	30,961	41,188	3,890	41,188
	人件費	1,627	1,590	159	1,590
	合計	0	42,778	4,049	42,778
人件費 内訳	人工数	0.20	0.20	0.02	0.20
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,627	1,590	159	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	32,588	42,778	4,049	42,778

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
ポンプ等施設修繕件数	件	3	8	3	8
ポンプ等改修工事件数	件	2	2	0	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	25,000	25,000	0	0	0	50,000

成果指標				
成果指標	浸水被害戸数			
指標設定の考え方	浸水等の被害を未然に防ぐことで適正な施設管理が行われている。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	排水ポンプの修繕は長期的なスケジュールに基づいて実施されている状況である。新たに計画されている施設の長寿命化計画にそって修繕改修計画を策定し効率的かつ安全な施設維持を推進する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	大きなポンプ場4ヶ所の内、公共雨水ポンプ場3ヶ所はH27年度を移行期間とし、H28年度より下水道課へ完全移行して長寿命化修繕計画に沿って交付金で維持修繕を行い経費節減に努める。残りの1ヶ所の森浜ポンプ場と簡易なポンプ施設10ヶ所については、今後も適正な維持管理を行い、満潮時の大雨にも冠水しないよう最大限の努力を引き続き行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題